学校番号	3032B

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次前期
使用教科書	「書道Ⅱ」　（東京書籍）						
副教材等	最新ペン習字教範 62（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅱの漢字の書では新たに隷書と篆書の学習が始まります。漢字の書，仮名の書，漢字仮名交じりの書、篆刻の創造的活動を通して，書の歴史や文化，多様な表現の方法等，幅広い観点から学び，鑑賞や創作に生かします。自分らしい書の美を創るとともに，書を楽しく鑑賞し，作品から感じ取ったよさや美しさを根拠を持って伝え合う活動を通して，感性や表現力を高めていきます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の 中の文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に 基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会 を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書の表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し，個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書	・楷書，行書，草書，隷書，篆書の五つの書体とそれぞれが持つ固有の特徴について理解する。 ・漢字の書の表現と歴史について，日本及び中国等の文字と書の伝統と文化，書の美と時代，風土，筆者等との関わりを通して学ぶ。 ・篆書，隷書，草書の古典の臨書活動を通して，各古典の線質，字形，構成等の固有の特徴と用筆，運筆等との関わりや表現効果や風趣との関わりについて理解し，効果的な表現の技能を身に付ける。 ・全体の構成における変化や調和等による表現効果や風趣を実感的に理解し，効果的に表現する技能を身に付ける。 ・古典のさまざまな表現を生かして，創造的に構想し，個性豊かに全体の構成を工夫しながら表現する。	a: 漢字の書を構成する様々な要素や古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本及び中国等の文字と書の伝統と文化，書の美と時代，風土，筆者等との関わりについて理解を深めている。（鑑賞・知識） a:古典に基づく効果的な表現の技能や変化や調和等による全体の構成についての技能を身に付けている。（技能） b:表現形式に応じた全体の構成や，感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑賞） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察
	篆刻	・書体の変遷の過程で，文字が刻されてきた歴史も踏まえ，印の歴史と用法，生活の中の印について学ぶ。 ・用具，用材の特徴と表現効果との関わりや書を立体化する刻線のよさや美しさへの理解を深める。 ・篆刻を構成する様々な要素，書体・書風や配字等による表現の効果を理解し，全体の構成の技能を身に付ける。 ・石の印材に姓名又は語句を，用いる篆書の種類や字形，線質，余白等，全体の構成や個性的な表現について構想し，工夫しながら白文又は朱文で刻す。	a:篆刻を構成する様々な要素，書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本及び中国等の文字と書の伝統と文化，書の美と時代，風土，筆者等との関わりについて理解を深めている。（鑑賞・知識） a:目的や用途，意図に応じた効果的な表現の技能，書体・書風，配字等による全体の構成の技術を身につけている。（技能） b:表現形式に応じた全体の構成や，感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑賞） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート	振り返りシート 作品 授業観察

前期	仮名の書	・女手の完成と発展に深く関わった古今和歌集の写本等を題材に，伝統的な表現形式に応じた墨継ぎや散らし書き等による全体の構成について学ぶ。 ・仮名の書の美と，文字や装飾等の伝統と文化との関わりについて学ぶ。 ・古典の臨書活動を通して，筆者の個性的表現である様々な書風について学び，その効果的な表現について理解し，技能を身に付ける。 ・古典の様々な表現を生かして，創造的に構成し，個性豊かに工夫しながら表現する。	a:仮名の書を構成する様々な要素や古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本の文字と書の伝統と文化，書の美と時代，風土，筆者等との関わりについて理解を深めている。(鑑賞・知識) a:古典に基づく効果的な表現の技能や墨継ぎや，散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。（技能） b:表現形式に応じた全体の構成や感興や意図に応じた個性的な表現について構想し，工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑賞） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察
	漢字仮名交じりの書	・漢字や仮名の古典，名筆や現代の様々な書の，用筆･運筆等の表現と表現効果や風趣との関わりについて，古典等を生かした表現や鑑賞の活動を通して学び，実感的に理解する。 ・言葉や詩文の内容や，作品を通して表現しようとする思いと，表現とを調和させ，作品としてまとめるための効果的な表現の技能や全体の構成の技能を身に付ける。 ・自分の意図や感興に応じて，作品を創造的に構想し，書体や書風，紙面構成や用具･用材等を工夫し，個性豊かに表現する。 ・完成した作品を鑑賞しあい，書き手の意図に基づいた表現の工夫を理解して，作品のよさや美しさを根拠を持って伝え合う。	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や，名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，漢字仮名交じりの書の特質とその歴史，書の美と時代，風土，筆者等との関わりについて理解を深めている。（鑑賞・知識） a:目的や用途，意図に応じた効果的な表現の技能，漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。（技能） b:目的や用途，表現形式に応じた全体の構成，感興や意図に応じた個性的な表現，現代に生きる創造的な表現について構想し，工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。（鑑賞） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度